

十勝岳周辺の温泉の成分変化*

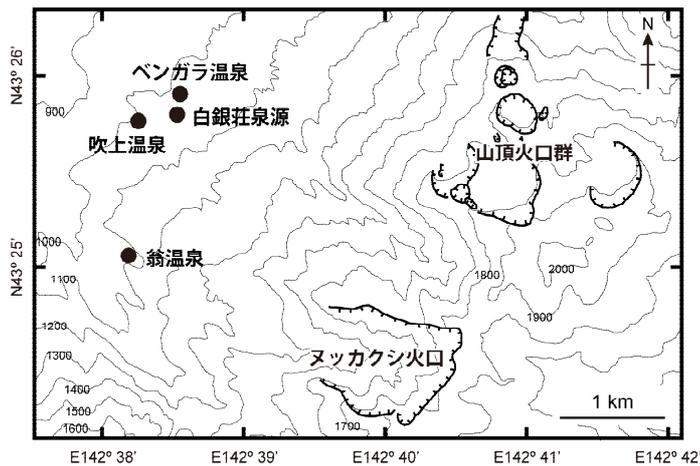
Chemical Changes of Thermal Waters around Tokachidake Volcano

(地独) 北海道立総合研究機構 地質研究所

Geological Survey of Hokkaido, HRO

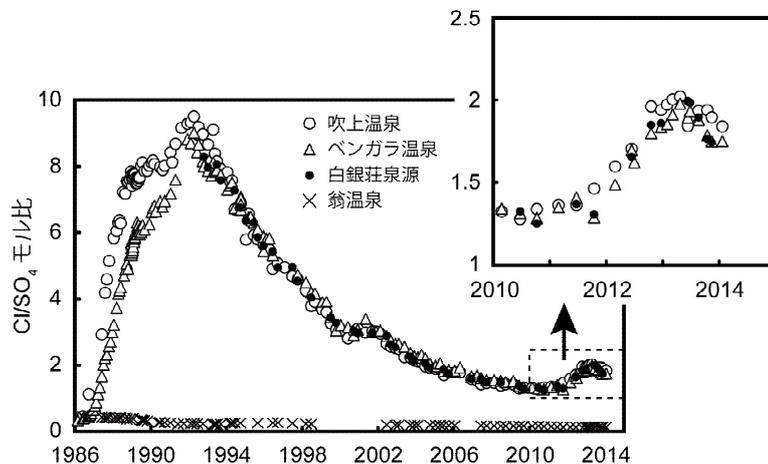
十勝岳の山頂火口群から約 3 km 西麓にはベンガラ温泉、白銀荘泉源および吹上温泉が、それらの約 1 km 南には翁温泉が位置している(第 1 図)。北海道立総合研究機構地質研究所では、これらの温泉の成分を 1986 年から継続的に分析し、地球化学的な火山活動モニタリングを行っている。ここでは、2014 年 1 月までの温泉の成分(Cl/SO₄モル比)の時間変化を示す。

ベンガラ温泉と吹上温泉における Cl/SO₄モル比は 1988-89 年噴火を挟んで急激に上昇し、1992 年に低下に転じた(第 2 図)。白銀荘泉源では、分析を開始した 1992 年以降はベンガラ温泉や吹上温泉と同様に Cl/SO₄モル比が低下する傾向を示した。これらの 3 つの温泉の Cl/SO₄モル比は、2012 年に上昇傾向へと転じたが、2013 年 4 月以降は横ばい~やや低下の傾向を示している。一方、翁温泉の Cl/SO₄モル比には、1986 年から大きな変化はない。



第 1 図 十勝岳周辺の温泉試料採取地点

Fig.1 Location map of hot springs around Tokachidake volcano.



第 2 図 十勝岳周辺の温泉の Cl/SO₄モル比の時間変化

Fig.2 Temporal change of the Cl/SO₄ molar ratio of thermal waters around Tokachidake volcano.

* 2014 年 3 月 18 日受付